



晴天の下 2011 砥山農業小学校開校

5月15日の授業

時間割	教科と内容	教室
1 時限	入学式	
2	果樹園見学	砥山ふれあい果樹園
3	農業機械の見学	
4	じゃがいも植え	八剣山果樹園

12組37人の皆さんをお迎えして、9年目となる砥山農業小学校が開校しました。参加者は市内一円に及び、このうち3家族9人の方々は昨年に引き続き入校され、「去年の楽しさが忘れられず、今年も参加しました」「子どもがどうしても参加したいというので」と話していました。



主催は「砥山農業クラブ」で、8農園の園主がそれぞれ講師を務めることになっています。また、北海道農業改良普及センター、札幌市農業支援センター、札幌農学校OB、八剣山発見隊など関係機関からも計12名の支援者・ボランティアが参加しました。



第2回（6月12日）の授業計画

時間割	教科と内容	教室
1 時限	りんごの摘果	西本果樹園
2	野菜の定植	砥山ふれあい果樹園
3	いちご収穫	桜井農園

授業内容等

【入学式】

冒頭に瀬戸修一校長より入校者へ歓迎のことばが述べられ、次いで果樹園経営の現状とその難しさについての話がありました。特に風雨寒暖・病害虫などの自然条件に左右されるのが果樹であり、収穫までに気の遠くなるような手数がかかっていることが説明され、生徒の皆さんは真剣に聞き入っていました。さらに、全6回に渡るカリキュラムの説明からは、この学校に対する期待が膨らんだようでした。

家族単位での自己紹介では、小学生のしっかりとした話し方にそれまでの緊張が解け和やかな雰囲気となりました。

続いてパワーポイントを使った「りんごの話」に移り、冬の間が始まる剪定作業から消毒や摘果、収穫に至るまでの工程を画像をとおして理解を深めることができました。

【果樹園見学】

「砥山ふれあい果樹園」をほぼ一周する形で見学が行われました。低温が続いていたため果樹の開花は全体として1週間程度の遅れが見られ、やっと梅の木に淡いピンク色の花が開いていました。また、園内では昨年10月末の大雪で被害を受けた果樹の生々しい姿や、腐乱病の手当の痕も見られ果樹園経営の大変さを実感しました。

【農業機械の見学】

計6台の作業車が実際に運転される様子を見学しました。講師によるクイズ形式の巧みな質問によって、作業車がどんな働きをするのか理解が進みました。

【じゃがいも植え】

昼食の後、八剣山果樹園に移動して、じゃがいもの植え付けを行いました。まず、準備された「北あかり」・「男爵」の種も各10kgを既に発芽している部分を傷めないように注意しながら切りました。畑ではボランティアの手で約30mの畝2本にマルチがかけられ準備が整っています。そこに皆で等間隔に2列の穴を開けて種もを配置し、指1本分くらいの深さに植えました。土をかけておしまいです。8月の収穫が待ち遠しい初めての農作業でした。

発行：砥山農業クラブ事務局（代表 瀬戸修一）

〒061-2275 札幌市南区砥山84番地 ☎・Fax 011-596-2694

E-mail toyamafureai@gol.com

<http://www.hakkenzan.com/nosyo/>

5月15日のスナップ



【入学式】



【自己紹介】



【果樹園見学】



【農業機械の見学】



【じゃがいも植え付け説明】



【種いも切り】



【じゃがいも植え付け】